

令和5年度学校自己評価システムシート (県立川越工業高等学校 定時制)

目指す学校像	社会の変化に主体的に対応できる力と自立する力を育成する
--------	-----------------------------

重点目標	1 基本的生活習慣の確立と基礎学力、技能の定着を図る 2 地域社会や家庭との連携を推進する 3 生徒一人ひとりの個性に応じた進路実現を目指す
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標					年度評価(2月1日現在)		実施日 令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	【現状】 ・多様な生徒が在籍している。 ・基本的生活習慣の定着は向上が見られる。 ・教育活動におけるICT機器の活用は定着しつつある。 【課題】 ・授業や課外活動に自主的に取り組む態度の育成。 ・多様な生徒に対応した教育課程の充実や観点別学習評価方法の検討と研修。	・基本的生活習慣の確立と基礎学力、技能の定着を目指した学習環境の整備 ・新教育課程の着実な実践と観点別学習評価の定着	①教職員の共通理解によるSHR、校内巡回、登下校指導。 ②アクティブラーニングやICT機器を活用した魅力ある授業の実践。 ③日本語支援員及び学習サポーターの効果的な活用。 ①新教育課程及び観点別学習評価に関する情報交換及び職員研修の実施。	①アンケート、職員面談等で学習規律の定着を確認できたか。 ②生徒の学習意欲・理解度等が向上したか。 ③教職員と外部支援者との共通理解が図れたか。 ①成果と課題のまとめを全教職員で共有できたか。				
2	【現状】 ・HPを活用し情報発信を行っている。 ・専門員や外部機関からの手厚い支援により生徒指導を展開している。 【課題】 ・学校関係者や地域に向けた教育活動の更なる理解促進。 ・専門員や外部機関、サポーターとの効果的な連携。	・地域・保護者からの理解を深める定時制教育活動の情報発信 ・地域、家庭、関係機関と連携した教育活動	①学校教育活動を工夫した内容でHPに掲載。 ②報道機関に向けた情報発信。 ③学校評議員会や学校評価懇話会を活用した定時制の理解促進。 ①SSW、SC、外部の専門機関との積極的な連携。	①アクセス数を増やせたか。 ②新聞等による外部発信が増加したか。 ③評議員等の理解を深め、評議員意見を校務に反映したか。 ①連携回数、相談回数が増加したか。 ①生徒の課題は改善に向かったか。				
3	【現状】 ・卒業後の進路選定に向け、粘り強い指導が続けられている。 ・多様な個性を持つ生徒の支援を組織的に実施している。 【課題】 ・生徒の自立を目指した教職員分掌間の連携指導。	・組織的、系統的な自立支援活動と生徒の進路実現	①登下校時等における挨拶運動を実施。 ②分掌間での生徒情報の共有と指導・支援の検討。 ③校内外の進路説明会への生徒の主体的な出席指導。 ④就職支援アドバイザーと連携した就職指導。	①出欠席等は改善したか、規律ある授業が展開できたか。 ②教職員が情報共有して、理解・支援を図れたか。 ③④生徒の進路実現ができたか。就職未定者数の減少ができたか。				